

# 上北農業生産情報 第5号

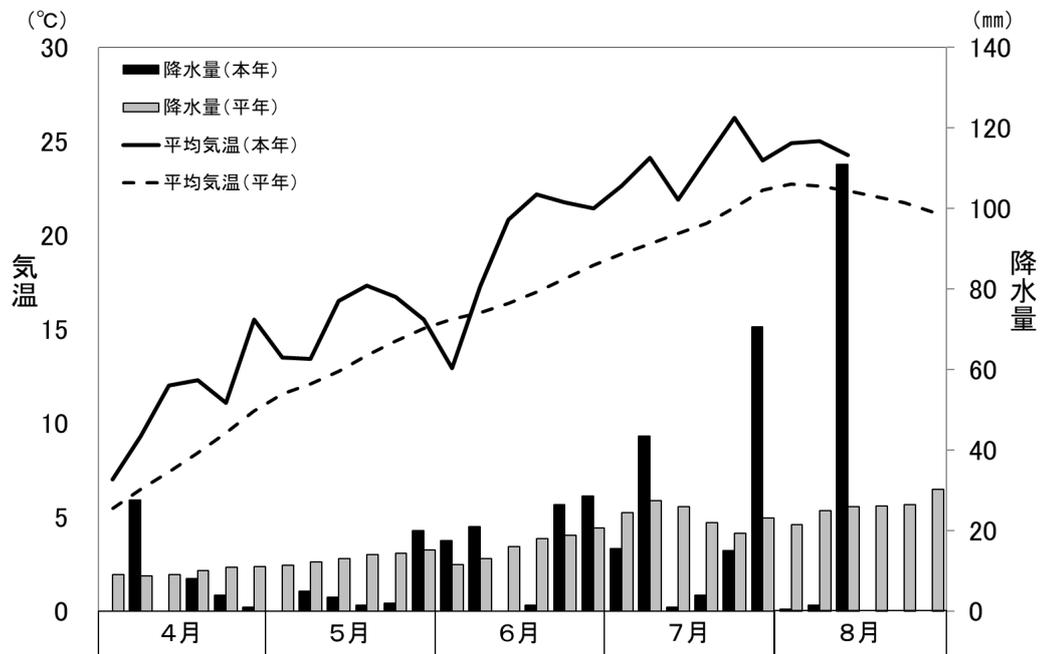
令和6年8月23日  
上北地域県民局地域農林水産部長

## 熱中症予防運動展開中

実施期間：令和6年6月1日～8月31日

- 高温時の作業は避けましょう！
- こまめな休憩と水分・塩分補給を行いましょう！
- 1人での作業はできるだけ避けましょう！
- 熱中症対策グッズ（帽子・空調服等）を活用しましょう！

## 気象



【半旬別平均気温・降水量の推移（十和田アメダス）】

### 【7月】

- ・平均気温は、期間を通して平年を上回った。
- ・日照時間は、上・中旬は平年を上回り、下旬は平年を下回った。
- ・降水量は、上・下旬は平年を上回り、中旬は平年を下回った。

### 【7月の気象（十和田アメダス）】

項目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	23.4	19.3	27.4	23.8	19.0	15.5	52.5	43.8	59.0	51.9
中旬	23.0	20.4	27.6	24.8	19.1	16.8	60.5	41.3	5.0	47.9
下旬	25.0	22.0	28.5	26.5	21.5	18.4	39.3	50.9	85.5	42.4

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計(下旬は11日間の平均・合計)

### 【8月上旬】

- ・平均気温は、上旬は平年を上回った。
- ・日照時間は、上旬は平年を上回った。
- ・降水量は、上旬は平年を下回った。

【8月上旬の気象（十和田アメダス）】

項目	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	25.0	22.7	29.4	27.3	21.6	19.0	57.7	51.1	2.0	46.5

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計

東北地方 1か月予報（8月17日～9月16日までの天候見通し）

令和6年8月15日 仙台管区气象台 発表

- 東北太平洋側では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- 平均気温は、高い確率70%です。
- 降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

水 稲

《生育状況》

- 1 管内の出穂最盛期（50%出穂）は、平年より8日早い7月28日であった。
- 2 出穂後の開花・登熟は順調に進んでいる。

【上北管内の市町村別水稻出穂状況】

市町村	作付面積 (ha)	出 穂			最盛期の 平年差	備 考
		始め	最盛期	終わり		
十和田市	3,150	7月25日	7月27日	8月1日	早7日	[出穂始め] 5%到達日
七戸町	1,460	7月26日	7月28日	8月2日	早8日	
東北町	1,100	7月28日	7月29日	8月2日	早6日	[出穂最盛期] 50%到達日
野辺地町	18	7月28日	7月30日	8月2日	早7日	
横浜町	136	7月28日	7月30日	8月4日	早8日	[出穂終わり] 95%到達日
三沢市	161	7月28日	7月31日	8月2日	早8日	
六戸町	643	7月26日	7月29日	7月31日	早6日	
おらせ町	400	7月27日	7月30日	8月1日	早7日	
六ヶ所村	34	7月27日	7月29日	7月31日	早9日	
管内全体	7,102	7月27日	7月28日	8月2日	早8日	

《今後1か月間の主な作業》

1 水管理

落水時期が早すぎると、玄米の肥大が抑えられ、収量や品質・食味の低下を招くので、湿田では出穂後20～25日、乾田では出穂後30～35日を目安に落水する。

2 刈取り

- (1) 「まっしぐら」の刈取適期の始め（出穂後の積算気温960℃の到達日）は、出穂期が7月29日のほ場で9月10日頃になると見込まれる。

【「まっしぐら」の刈取適期の目安（十和田アメダス：8月15日以降は平年値使用）】

刈取適期	出穂期				
	7月25日	7月27日	7月29日	7月31日	8月2日
適期始め	9月5日	9月7日	9月10日	9月13日	9月15日
適期終わり	9月18日	9月20日	9月23日	9月26日	9月29日

注) 適期始めの目安は出穂後積算気温960℃到達日、適期終わりの目安は出穂後積算気温1,200℃到達日

- (2) 個々のほ場の刈取適期は、出穂の早晩や籾数の多少によって異なるので、籾の黄化程度（ほ場全体の籾の約90%が黄化した時期）や籾水分（25～26%程度まで減少

- した時期)等から総合的に判断する。
- (3) 本年は出穂後の高温により、刈遅れによる茶米や胴割米の多発が懸念されることから、特に適期内の刈取りに努める。

### 3 乾燥

- (1) 登熟ムラによる高水分粳や未熟な粳の混入が多い場合は、粳水分18%程度で一旦乾燥を中断し、最低5～6時間以上貯留してから仕上げ乾燥を行う二段乾燥など、水分ムラに配慮した乾燥に努める。
- (2) 「良食味・高品質米」生産のため、適正水分15.0%を目標に乾燥する。

### 4 その他留意する点

- (1) 倒伏した場合は可能な限り株起こしを行う。また、冠水したほ場では、可能な場合は動力噴霧機で散水し、稲に付着した泥を洗い流す。
- (2) 刈取りに支障がないよう、刈取り前までに降雨に備えた排水路の整備を行う。
- (3) 早期の倒伏や冠水被害があった場合は品質の低下が懸念されるので、できるだけ別刈り、別乾燥、別出荷する。
- (4) コンバイン等の機械の点検時には必ずエンジンを停止する。ほ場の出入りや傾斜地の走行は慎重に行うなど、農作業事故が起きないように十分注意する。

## 大豆

### 《生育状況》

- 1 生育観測ほの生育は、開花期は平年より8日早い7月27日で、8月9日現在の草丈は平年を上回り、ほ場の一部で倒伏が見られる。
- 2 ベと病の発生が少程度見られるほか、食葉性害虫による食害が散見される。

#### 【生育観測ほの生育状況(品種：おおすず)】

調査地	年次	開花期 (月/日)	8月9日現在 草丈(cm)	備考
十和田市切田	本年	7/27	121.3	6/9は種(平年:6/7)
	平年	8/4	109.1	
	前年	7/27	124.6	

注) 平年値は令和3年～5年の平均値

### 《今後1か月間の主な作業》

#### 1 病虫害防除

- (1) マメシンクイガの防除は原則2回防除とし、1回目は8月第6半旬～9月第1半旬、2回目はその7～10日後に行う。ただし、前年が他作物で周辺に大豆ほ場が無い場合は、1回目の防除のみで良い。
- (2) 紫斑病は、開花期後20～40日が防除適期であり、8月下旬～9月初めのマメシンクイガ防除との同時散布が可能である。
- (3) チオファネートメチル剤、ベノミル剤、アゾキシストロビン剤は、紫斑病に対する耐性菌が確認されているので、昨年使用した場合は別の薬剤を使用する。

## 小麦

### 《今後1か月間の主な作業》

- 1 は種予定のほ場で雑草が発生している場合は早めに耕起し、雑草をすき込む。
- 2 ほ場の団地化を図り、明きょや弾丸暗きょを施工し、十分な排水対策を行う。

- 3 地力増進のため堆肥を施用するほか、土壌分析を行い、適正pH6.0～6.5となるように苦土石灰等を施用する。
- 4 適期(9月15日～25日)には種できるよう、耕起・砕土などのほ場準備を行う。耕起・砕土は、出芽や苗立ちの確保に関わるので、丁寧に行う。
- 5 雪腐病などの防除のため、薬剤による種子消毒を徹底する。

## ながいも

### 《生育状況》

- 1 生育観測ほの8月9日現在の生育は、いも長57.8cm(平年比138%)、いも重577.5g(平年比245%)、いも径49.6mm(平年比130%)で平年を大幅に上回っている。
- 2 一般ほ場でも、気温が高く降雨も適度にあったことから、おおむね順調に生育している。
- 3 ナガイモコガ、コガネムシ類の食害が見られるほか、葉渋病・炭そ病の発生が一部で見られている。

#### 【生育観測ほの生育状況(種いも：庄司系1年子芽付き100g)】

調査地	年次	植付日 (月/日)	つるの穂 頂到達日 (月/日)	8月9日現在		
				いも長 (cm)	いも重 (g)	いも径 (mm)
東北町野田頭	本年	5/11	6/29	57.8	577.5	49.6
	平年	5/8	7/9	42.2	236.0	38.2
	前年	5/5	-	45.0	202.0	36.6

注) 平年値は平成25年～令和5年の平均値

### 《今後1か月間の主な作業》

- 1 台風に備えて支柱の補強や、明きよの設置等排水対策を徹底する。
- 2 病虫害防除は、炭そ病、葉渋病、ナガイモコガの防除を中心に計画的に行う。

## 露地ねぎ

### 《生育状況》

- 1 生育観測ほの8月9日現在の生育は、草丈、茎径とも平年を下回っている。
- 2 一般ほ場では、7月上旬から出荷が行われており、肥大は概ね良好である。
- 3 一部のほ場でさび病、斑点性病害や軟腐病、ネギアザミウマの被害が見られる。
- 4 一部のほ場で7月第3、4半旬の乾燥の影響による葉先枯れ症状が見られる。

#### 【生育観測ほの生育状況(品種：夏扇パワー)】

調査地	年次	は種期 (月/日)	定植期 (月/日)	8月9日現在	
				草丈 (cm)	茎径 (mm)
十和田市洞内	本年	1/23	4/2	91.0	22.7
	平年	1/27	4/13	106.3	26.8
	前年	1/20	4/1	96.0	25.6

注) 平年値は令和2年～令和5年の平均値

### 《今後1か月間の主な作業》

- 1 明きよの設置等排水対策を徹底する。
- 2 生育の進み具合に合わせ、葉色が淡くなりすぎないように追肥を行う。また、最終培土(収穫予定の20～30日前が基準)は、適期に行う。
- 3 病虫害防除は、さび病、斑点性病害、軟腐病の防除を中心に計画的に行う。

## ごぼう

### 《生育状況》

- 1 生育観測ほの8月9日現在の生育は、草丈が平年を下回ったものの、葉数は平年を大幅に上回った。
- 2 一般ほ場の生育は、7月中の高温と適度な降水により、概ね順調である。
- 3 病虫害は特に見られない。

#### 【生育観測ほの生育状況(品種：柳川理想)】

調査地	年次	は種期 (月/日)	8月9日現在	
			草丈 (cm)	葉数 (枚)
三沢市猫又	本年	5/16	106.2	3.4
	平年	5/1	116.5	2.9
	前年	4/28	127.7	3.7

注) 平年値は平成26年～令和5年の10か年平均値

### 《今後1か月間の主な作業》

- 1 黒斑細菌病及び黒条病を主体とした病害の予防防除、ヒョウタンゾウムシ及びアブラムシ類の防除を実施する。

## 牧草

### 《生育状況》

生育観測ほでは、平年より2日早い7月16日に2番草を収穫し、10a当たり乾物収量は245kgで平年比116%であった。

#### 【生育観測ほの生育・収量状況(オーチャードグラス主体)】

調査地	年次	収穫日 (月/日)	草丈 (cm)	乾物収量 (kg/10a)
十和田市大不動	本年	7/16	71.3	245
	平年	7/18	78.1	212
	前年	7/18	92.9	305

注) 平年値は平成26年～令和5年の10か年平均値

### 《今後1か月間の主な作業》

- 1 2番草の収穫及び追肥  
2番草を収穫していないほ場は、速やかに収穫するとともに追肥する。
- 2 草地の更新  
牧草の収量が減少してきた草地は計画的に更新し、生産力の回復に努める。今後は以下により作業を進め、9月末を目途に、は種を終えるようにする。
  - (1) 土壌改良・は種床造成を終えている場合  
は種床造成後、3～4週間放置し、雑草が十分に出揃ったら非選択性除草剤を散布して、雑草表面が乾いてから、牧草の施肥とは種を行い鎮圧する。
  - (2) これから草地更新する場合
    - ア 土壌改良・は種床の造成  
堆肥の散布と耕起を行い、石灰質資材やリン酸質資材を散布、砕土・整地しては種床を造成する。

**イ 3～4週間放置**

は種床造成後3～4週間放置し、雑草を十分に発芽させる。

**ウ 除草剤散布**

雑草が十分に出揃ったら非選択性除草剤を散布する。

**エ は種・施肥・鎮圧**

除草剤散布後、雑草表面が乾いたら、牧草のは種と施肥を行い鎮圧する。

**飼料用とうもろこし**

**《生育状況》**

生育観測ほの絹糸抽出期は8月4日で平年より3日早い。

**【生育観測ほの生育状況（品種：スノーデント110）】**

調査地	年次	は種期 (月/日)	7月20日現在		雄穂抽出期 (月/日)	絹糸抽出期 (月/日)
			草丈(cm)	葉数(枚)		
東北町北栄	本年	5/22	216.4	14.8	8/1	8/4
	平年	5/21	141.3	13.0	8/4	8/7
	前年	5/21	130.8	11.5	7/31	8/3

注) 平年値は、平成30年～令和5年の6か年の平均値

**《今後1か月間の主な作業》**

- 1 ほ場ごとの刈取適期（黄熟期）を確認しながら、計画的に刈取りを進める。
- 2 大雨・強風等による倒伏・折損が発生したほ場では、速やかに刈取る。